

鹿児島県における 後発医薬品安心使用促進事業について

鹿児島県くらし保健福祉部薬務課

1 鹿児島県におけるジェネリック医薬品使用状況について

鹿児島県におけるジェネリック医薬品の使用状況は、令和元年10月現在の「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向」におけるジェネリック医薬品割合において、84.8%（数量ベース）であり、平成29年6月9日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017」で国が掲げた「2020年9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とする」目標を既に達成しています。その一方で県内でもジェネリック医薬品使用割合には地域較差がある等の課題もあります。

2 鹿児島県のこれまでの取組について

鹿児島県においては、平成20年10月に医療関係者、保険者、学識経験者等で構成する「鹿児島県後発医薬品安心使用協議会（以下、「県協議会」という。）」を設立し、ジェネリック医薬品の安心使用に係る環境整備に向け、継続して取り組んでいるところです。

平成23年度は、加世田保健所地区をモデル地区とし、地域での研修会の実施等、重点的にジェネリック医薬品の安心使用に係る環境整備を図るモデル事業を実施しました。

平成25年度は、新たな地区協議会の場として、鹿屋保健所地区を選出し、医療関係者を対象者としたアンケートや医療関係者や住民向けの研修会を実施しました。

平成27年度以降は、各地域で医療関係者向けのシンポジウムを開催しました。

県協議会を中心にこれまで取り組んできた取組の詳細は次のとおりです。



年度	実施主体	協議事項
20	県協議会	後発医薬品安心使用に環境整備に向けた関係者の取組について
		後発医薬品安心使用のための採用マニュアルについて
21	県協議会	ジェネリック医薬品希望カードの作成について
		ジェネリック医薬品安心使用シンポジウムの開催について 地域の薬局における後発医薬品採用リストの作成について
22	県協議会	薬局、県民へのアンケート調査について
		薬局及び100床以上の一般病床を有する病院における後発医薬品採用リストについて
		モデル事業を実施する地区の選定について 県民への普及啓発について
23	県協議会	最近の後発医薬品の話について
		加世田保健所地区協議会の取組状況について
		ジェネリック医薬品使用促進の先進事例に関する調査依頼について
	加世田保健所地区協議会	後発医薬品安心使用モデル事業について
		後発医薬品使用状況等について
		後発医薬品安心使用のための課題等の検討について 先進地視察研修について 後発医薬品安心使用の普及啓発について
24	県協議会	後発医薬品使用促進事例等に関する調査報告
		日本ジェネリック医薬品学会参加報告
		平成25年度国及び県の動向について
	加世田保健所地区協議会	後発医薬品使用割合等アンケート調査について
		一般住民を対象とした後発医薬品シンポジウムの開催について
		日本ジェネリック医薬品学会参加報告について 各団体からの活動報告について
25	県協議会	後発医薬品の更なる利用促進のためのロードマップについて
		日本ジェネリック医薬品学会参加報告
	鹿屋保健所地区協議会	鹿屋保健所地区事業について
		後発医薬品先進地視察について 薬局、医療関係者対象のアンケートについて 医療関係者向け講習会の開催について
26	県協議会	平成25年度における後発医薬品の使用状況について
		日本ジェネリック医薬品学会参加報告
		加世田保健所地区モデル事業終了後の状況確認(アンケート調査)について
	鹿屋保健所地区協議会	住民を対象とした講習会の開催について
		啓発用リーフレット案について 住民を対象とした啓発活動の取組報告について
27	県協議会	平成26年度における後発医薬品の使用状況について
		最近の国及び県の動向について
		日本ジェネリック医薬品学会参加報告
		医療関係者を対象とした後発医薬品シンポジウムの開催について
28	県協議会	平成27年度における後発医薬品の使用状況について
		最近の国及び県の動向について
		日本ジェネリック医薬品学会参加報告 医療関係者を対象とした後発医薬品シンポジウムの開催について
29	県協議会	平成28年度における後発医薬品の使用状況について
		最近の国及び県の動向について
		日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会参加報告 医療関係者を対象とした後発医薬品シンポジウムの開催について
30	県協議会	平成29年度における後発医薬品の使用状況について
		最近の国及び県の動向について
		日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会参加報告 医療関係者を対象とした後発医薬品シンポジウムの開催について



3 令和元年度の事業について

令和元年度については、主に以下の内容に取り組みました。

(1) 後発医薬品安心使用促進講習会

医療従事者を対象とした講習会（講演内容は「後発医薬品使用促進のためのジェネリック業界の取組」、「協会けんぽの取組について」、「後発医薬品を推進するためのフォーミュラリーについて」）を開催しました。また、Web 会議システムを利用し、奄美大島にある県立大島病院にも配信しました。

(2) リーフレットによる普及啓発

令和元年度においても、県民向けのリーフレット 30,000 部を作成し、県内の薬局約 900 店舗に配布しました。

4 今後の取組について

今後も県協議会を中心に、ジェネリック医薬品使用割合が低い地域において、講習会等を実施する等、ジェネリック医薬品を安心して使用できるよう環境整備に努めていきたいと考えております。

ジェネリック医薬品とは？

後発医薬品とも呼ばれるよ

ジェネリック医薬品とは、先に開発されたくすり(先発医薬品)の特長が切れた後につくられる、同じ有効成分で同じ効き目のくすりです。

先発医薬品(A社)
ジェネリック医薬品(B社、C社、D社)
ジェネリック医薬品販売

「ジェネリック」とは「一般的な」という意味だよ

医薬品には、商品名他に有効成分を示す一般名(generic name)があります。後発医薬品が一般名で処方されることが多いことから、ジェネリック医薬品と呼ばれます。

ジェネリック医薬品の使用上の注意

先発医薬品によっては、ジェネリック医薬品がまだ発売されていない場合があります。

病気や体質によっては、医師の相談により、先発医薬品からジェネリック医薬品に変更できない場合があります。

医療機関や薬局により、取り扱っているジェネリック医薬品が異なる場合があります。

まずは、かかりつけのお医者さんや薬剤師さんに気軽に相談してね

お問い合わせ
鹿児島県くらし保健福祉部薬務課
TEL: 099-233-2111

ジェネリック医薬品
(後発医薬品)ってなんだろう？

Q&A

ぼくたちがわかりやすく説明していくよ！

kuribee さくら

ジェネリック医薬品を正しく知ろう

ジェネリック医薬品はなぜ安い？

先発医薬品は、開発に長い時間と多くの費用がかかりますが、ジェネリック医薬品は短時間で開発でき、経費も大幅に抑えることができますので、価格が安くなります。

同じ有効成分を使っているから、開発期間が短くて済むんだよ

どのくらい安くなるの？

先発医薬品 ジェネリック医薬品

おくすり代が5割程度、中にはそれ以上安くなる場合もあるわよ

効果や安全性は大丈夫？

ジェネリック医薬品は、長年にわたり使用されてきた先発医薬品と同じ有効成分が入っています。有効性や安全性、品質についても、国が定める厳しい基準に適合しており、先発医薬品と同等であることを厳格に確認されています。

効き目と安全性が同等だから、安心して使えるよ

どことなくすりがあるの？

ジェネリック医薬品は、高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病のくすりをはじめ、さまざまな病気や症状に対応しています。

カプセル、錠剤、点眼剤など形もさまざま

ジェネリック医薬品を処方されるには？

ジェネリック医薬品を処方してもらうには、病院や診療所の医師による診療や同意が必要です。まずはかかりつけの医師や薬剤師にお気軽にご相談ください。

ジェネリック医薬品は、自己負担の軽減だけでなく、医療費全体の抑制につながるんだよ

同じ薬でも色や形が違う？

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と有効成分が同じですが、味やおい、大きさなどを改善したり、飲みやすいように工夫された製品があるので、先発医薬品と色や形などが異なる場合があります。

いろいろなタイプのくすりが発売されているので、その中から自分にあったくすりを選べるわよ